

平成23年11月14日

淡路市長 門 康 彦 様

淡路市行政改革等審議会  
会 長 江 川 隆 子



## 淡路市の行財政改革について（提言）

平成23年度の行財政改革の推進状況について、行政改革推進本部から状況報告を求め、審議会として内容をまとめたので、淡路市行政改革等審議会条例第2条第3号に基づき、下記のとおり提言します。

### 記

私たち委員は、若い人が将来希望が持て高齢者等に優しく、持続可能な淡路市であり続けるために、市民の目線から、市の行財政運営や将来的により発展する淡路市像はどうあるべきかという観点で審議して参りました。この度、二年目を迎えるにあたり、これまでの審議の成果を取りまとめました。

市制発足7年目を迎えた淡路市は、先に公表された自治体の財政状況を示す平成22年度決算における「実質公債費比率」は3ヶ年平均の数値で22.5%、「将来負担比率」が238.4%と、共に早期健全化基準の数値を下回っています。しかし、合併10年目以降、地方交付税が削減されるほか、東日本大震災の影響等で国・県の施策の見直しが想定されるなど、予断を許さない状況であります。

これまでも、行財政改革への取り組みが行われてきましたが、平成23年度の重点目標であります「教育」、「企業誘致」、「観光」を基に、今年度の審議会では「安心・安全な淡路市」を理念に協議し、今後の市行政に対し次のとおり提言します。

## 1 自然災害に備えた安心安全なまちづくりについて

近年、テレビや新聞等の報道により、東南海・南海地震などの大規模な自然災害の発生などに対する不安が高まりつつある。

本市においては、防災訓練や防災教育などの取り組みが進められているが、3月に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、さらに、台風15号等の影響による豪雨により、河川の増水、ため池の決壊等が市内で発生し避難勧告が発令されたことなどから、地震・津波・台風等の災害時に備え避難場所の見直しや、市民及び滞在者への避難経路・避難場所の周知徹底、また、防災行政無線戸別受信機（防災ラジオ）についても効果的な活用を促して頂き、市民一人ひとりが災害に対する危機意識を高められ、避難場所でのプライバシーを確保できる環境づくりなど安心安全なまちづくりの推進に努めて頂きたい。

また、小学校等の統廃合による学校新設時等には、安心安全を第一に考え、子供たちを自然災害から守れる場所を検討して頂きたい。

## 2 観光立島としての観光の取り組みについて

明石海峡大橋開通により、交通網の整備が図られ利便性が向上したことから、日帰り型の観光客が増加しているのが現状である。地域経済への波及効果を高めるために、いかに淡路市に宿泊・滞在して貰えるかが、重点課題であると考えられ、淡路市の恵まれた自然を生かした春の夜桜・夏のホテル、伊弉諾神宮等名所の夜のライトアップ演出や、歴史資産である五斗長垣内遺跡・松帆台場跡など、年間を通して淡路市が誇れる豊かな自然や観光資源を最大限に活用するため道路の環境美化を含めた新たな観光の取り組みやアクセスの充実を推進して頂きたい。

また、淡路島はサイクリングロードとしても人気が高いとのことから、島外から多くの参加者を期待できる市内一周コースのサイクリングイベントや、最近のマラソンブームから島内でのフルマラソンの開催についても企画検討していただき、将来的には「世界的観光立島」としての自然豊かな地形を活かしたスポーツ島として地域活性化に繋がるよう努めて頂きたい。

淡路市が掲げる「世界的観光立島」は淡路市の生き残りをかけて取り組むべき事項と考える。そのため市民や職員に本事業の仕組みや内容等を丁寧に十分説明の上、理解を求め、推進について協力を呼び掛けるなど、市全体の体制づくりが不可欠である。それには、市民の一人ひとりが自ら“観光ガイド役”にふさわしい知識の取得や、おもてなしの心得を磨きたいとの意欲を醸成させる工夫も必要と思われるので、検討をお願いし、元気で活力にあふれ、頑張る淡路市を世界にアピールして頂くとともに、淡路市の食ブランドの発信、アンテナショップの設置についても検討して頂きたい。

他に、淡路市では地域の特性上から市内に墓地が点在しているが、将来的には、観光と連携できるような「公園墓地」の整備についても検討して頂きたい。

### 3 人口増対策の推進について

#### ① 交通網の充実について

現在、島内の公共交通においては、本州四国連絡道路の整備により高速バスが主体となってきているが、地域住民の交通手段である路線バスについては、人口減による利用者の伸び悩みにより、路線の廃止・縮小により市民生活に影響がでている。

本市においては、公共交通網の取り組みは重要施策の一つであり、昨年の審議会の中でも議論をしたところであるが、人口増に繋げる要素として地域住民の交通手段の確保が上げられ、既存の公共交通で対応ができない路線・時間帯への対応策として、スクールバスの混乗活用やデマンド交通の導入を進め、学校・観光及び高齢者等交通弱者への救済案として一体化した運用を考えるなど、活力ある淡路市として、地域移動の利便性向上に向けた交通網の充実を、積極的に推進して頂きたい。

#### ② 企業誘致について

本市が重点的に取り組んでいる企業誘致については、昨年度から実施している企業誘致奨励金制度期間延長などの優遇措置により、市役所庁舎前の企業庁埋め立て地に新たに2件の企業が進出することから、今後も積極的な推進をお願いしたい。更に、現在、市の施設跡地等を活用している企業においては、従業員の増員が予定されていると聞いており、雇用促進についても期待できると考えている。

定住促進への対応として、明石海峡大橋の無料化実現への継続した取り組みを推進していただき、阪神間に近い利点を活かす「くらしの場は淡路市」という仕組みを構築して頂きたい。

統廃合による学校施設などの空き施設については、引き続き、大学や研究機関、企業は勿論のこと、地域団体、NPOなど多様な主体と情報やノウハウについて連携し効率的な活用を積極的に推進して頂きたい。また、淡路市の主要産業である農業・漁業・畜産などとも協調して全国的に発信できる食文化の推進に取り組んで頂き、将来的には食文化を通して、地域活性化や市民の健康増進に繋がる施策「健康産業」についても検討して頂きたい。

#### ③ 教育の充実について

本市においては、急速な少子化による小学校の統廃合が進められている中で、将来的な小学校数を6校と聞いているが、地域の実情を踏まえた適正規模の学校再編を進めて頂きたい。更に、教育の質的向上、信頼される学校づくり等、魅力ある教育環境を推進し通学路の整備を行い、ふるさと教育や教育産業の充実を図り人口減に歯止めをかける施策を推進して頂きたい。

## ★ 淡路市行政改革等審議会 記録

### ○ 第1回 審議会開催

平成23年6月13日（月） 【場所】 淡路市役所2F 大会議室1.2

#### 協議事項

(1) 「淡路市の行財政改革についての提言」に対する取り組みについて

### ○ 第2回 審議会開催

平成23年8月29日（月） 【場所】 淡路市役所2F 大会議室1

#### 協議事項

(1) 平成23年度の提言に向けて

### ○ 第3回 審議会開催

平成23年11月7日（月） 【場所】 淡路市役所2F 大会議室1

#### 協議事項

(1) 淡路市行政改革の提言書の検討について

### ○ 淡路市の行財政改革について（市長へ提言）

平成23年11月14日（月）【場所】 淡路市役所2F 第3会議室

## 淡路市行政改革等審議会 委員名簿

会 長	江 川	隆 子	津 名
副 会 長	瀧 谷	勝 三	一 宮
委 員	西	美 里	津 名
委 員	大 竹	和 夫	津 名
委 員	東 根	孝 嘉	岩 屋
委 員	織 田	崇 志	北 淡
委 員	片 岡	伸 介	北 淡
委 員	大 杖	康 之	一 宮
委 員	上 村	和 子	東 浦
委 員	岡 田	久	東 浦